無停電電源装置

無停電電源装置

1.概要

型名	製品名	備考
N8580-27A	無停電電源装置(1250VA)	UPS ｲﾝﾀﾌｪｰｽｹｰﾌﾞﾙ K210-04/06/07A(XX) のいずれか必須
N8580-28AC	無停電電源装置(1000VA)	APC 社 I-UPS,UPS ｲﾝﾀﾌｪｰｽｹｰﾌﾞﾙ K210-04/06/07A(XX) のいずれか必須
N8580-29AC	無停電電源装置(1250VA)	
N8580-11	無停電電源装置(700VA)	PowerChutePLUS+ｲﾝﾀﾌｪｰｽｷｯﾄまたはｲﾝﾀﾌｪｰｽｷｯﾄ必須
N8580-12	無停電電源装置(1000VA)	
N8580-13	無停電電源装置(1400VA)	
N8580-33 *1	無停電電源装置(500VA)	PowerChutePLUS,インタフェースケーブル添付
N8542-12 *2	無停電電源装置(1250VA) (ラックマウント用)	UPS ｲﾝﾀﾌｪｰｽｹｰﾌﾞﾙ K210-04/06/07A(XX) のいずれか必須
N8542-08AC	無停電電源装置(3000VA) (ラックマウント用)	
N8542-02	無停電電源装置(1400VA) (ラックマウント用)	PowerChutePLUS+ｲﾝﾀﾌｪｰｽｷｯﾄまたはｲﾝﾀﾌｪｰｽｷｯﾄ必須
N8542-11	無停電電源装置(3000VA) (ラックマウント用)	
N8542-12	無停電電源装置(3000VA) (ラックマウント用)	

*1　UPS 装置本体は同じ装置で、添付ソフト PowerChutePLUS for NT の REV が以下となる。
N8580-33：REV5.2J（NT4.0/WIN2000 対応）

2.機能仕様

	N8580-27A	N8580-28AC	N8580-29AC
電源供給方式	常時ｲﾝﾊﾞｰﾀ方式	常時商用方式	常時商用方式
入力周波数限度(Hz)	50/60±5%	50/60±5%	50/60±5%
入力電圧帯(V)	AC85～115	AC83～120	AC83～120
定格出力電圧(V)	AC100±3%	AC100±10%	AC100±10%
有効電力(W)	937	720	900
皮相電力(VA)	1250	1000	1250
定格出力周波数(Hz)	50/60±0.1 Hz	50/60±0.1 Hz	50/60±0.1 Hz
形式	シール型鉛畜電池	シール型鉛畜電池	シール型鉛畜電池
ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ時間(分)	5	5	5
ﾊﾞｯﾃﾘ期待寿命(年)	5	5	5
充電時間(h)　*1	6	6	6
サポート機種	110Ec,110Lb,120Ld,120Mc/-R,140Hb, 140Ra-7*2,180Ra-7*2		
制御ソフトウェア	・ESMPRO/UPSController、Windows NT/2000　UPS 機能、NetWare UPS 機能		

*1　使用環境による

*2　N8500-551/-552/-554/-555/-556/-557,は 16U ラック実装時のみサポート

	N8580-11	N8580-12	N8580-13	N8580-33
電源供給方式	常時商用方式	常時商用方式	常時商用方式	常時商用方式
入力周波数限度(Hz)	50/60±5%	50/60±5%	50/60±5%	50/60＋2%,-4%
入力電圧帯(V)	AC81～124	AC81～124	AC81～124	AC0～160
定格出力電圧(V)	AC100±10%	AC100±10%	AC100±10%	AC100±10%
有効電力(W)	450	670	950	320
皮相電力(VA)	700	1000	1400	500
定格出力周波数(Hz)	50/60±4%	50/60±4%	50/60±4%	50/60±4%
形式	シール型鉛蓄電池	シール型鉛蓄電池	シール型鉛蓄電池	シール型鉛蓄電池
ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ時間(分)	5	6	7	5
ﾊﾞｯﾃﾘ期待寿命(年)	3	3	3	4.5
充電時間(h) *1	6	6	6	6
サポート機種	110Ec,110Lb, 120Ld,120Mc,	110Ec,110Lb, 120Ld,120Mc, 140Hb, 140Ra-7*2	110Ec,110Lb, 120Ld,120Mc, 140Hb, 140Ra-7*3	110Ec,110Lb,120Ld,
制御ソフトウェア	・PowerChutePLUS ・Windows NT/2000 UPS 機能 ・NetWare UPS 機能			・PowerChute plus for NT 添付 -33 Rev5.2J (NT4.0/WIN2000 対応)

*1 使用環境による。

*2 N8580-12 はラックモデルのみサポート

*3 N8500-551/-552/-553/-554/-555/-556/-557/-558 は 16U ラック実装時のみサポート

	N8542-12	N8542-08AC	N8542-02	N8542-11
電源供給方式	常時ｲﾝﾊﾞｰﾀ方式	常時ｲﾝﾊﾞｰﾀ方式	常時商用方式	常時商用方式
入力周波数限度(Hz)	50/60±5%	50/60±5%	50/60±5%	50/60±5%
入力電圧帯(V)	AC85～115	AC85～115	AC90～110	AC90～110
定格出力電圧(V)	AC100±3%	AC100±3%	AC100±10%	AC100±10%
有効電力(W)	937	2100	950	2250
皮相電力(VA)	1250	3000	1400	3000
定格出力周波数(Hz)	50/60±4%	50/60±4%	50/60±4%	50/60±4%
形式	シール型鉛蓄電池	シール型鉛畜電池	シール型鉛畜電池	シール型鉛畜電池
ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ時間(分)	5	5	5	5
ﾊﾞｯﾃﾘ期待寿命(年)	5	5	3	3
充電時間(h) *1	6	6	6	6
コンセント形状	並行二極アース付き	圧着端子	並行二極アース付き	回し固定プラグ *2
高さ(U 数)	3	5	3	3 *4
サポート機種	120Ld*3, 120Mc-R, 140Hb*3, 110Ra-1, 120Rc-2, 140Ra-4, 140Ra-7*3, 180Ra-7	120Ld*,120Mc/-R,140Hb, 110Ra-1,120Rc-2,140Ra-4,140Ra-7,		110Ec,110Lb, 120Ld,120Md
制御ソフトウェア	・ESMPRO/UPSController ・Windows NT/2000 UPS 機能 ・NetWare UPS 機能		・PowerChutePLUS ・Windows NT/2000 UPS 機能 ・NetWare UPS 機能	

*1 使用環境による

*2 NEMA L5-30P：コンセント工事必要（接続負荷合計 2250VA まで使用可能）
2250-3000VA 負荷接続の場合、入力プラグ変更工事が必要

*3 N8542-08AC/12 はラックモデルのみサポート

*4 N8542-11 を２台以上重ねて実装する場合は UPS の間 1U のブランクパネルが必要

*5

■常時商用方式(standby type UPS)

スタンバイ方式とも呼ばれる。

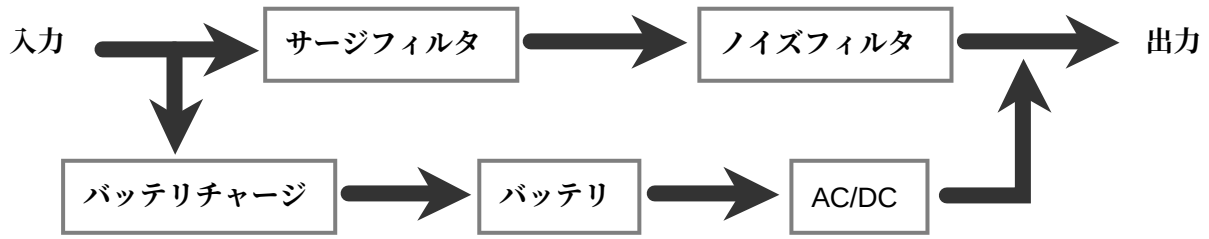
常時商用方式の UPS では、入力の交流電流を UPS 内部のバッテリチャージャに接続してバッテリへの電力供給を行うと同時に、入力の交流電源をそのまま外部出力(外部出力にコンピュータ機器を接続)に接続している。停電時にはバッテリからの出力に切り替え、DC-AC インバータを通して外部出力に電力を供給する。このインバータ回路は、平常運用等は停止しているが、停電状態になったことを検知するとインバータを起動して出力を切り替える。この切り替えのため、数 msec ほど出力電力の途切れがあるが、一般的なコンピュータ機器では、電源投入時に発生するごく短時間の電力波形の乱れ(突入電流)では影響を受けない設計となっているため、20msec 程度までの波形の乱れは問題ないとされている。また、常時商用方式では、入力電圧の変動がそのまま出力に現れてしまう場合がある。但し、回路は単純なもので済むため、低コストで製造できる。

■常時インバータ方式(on-line type UPS)

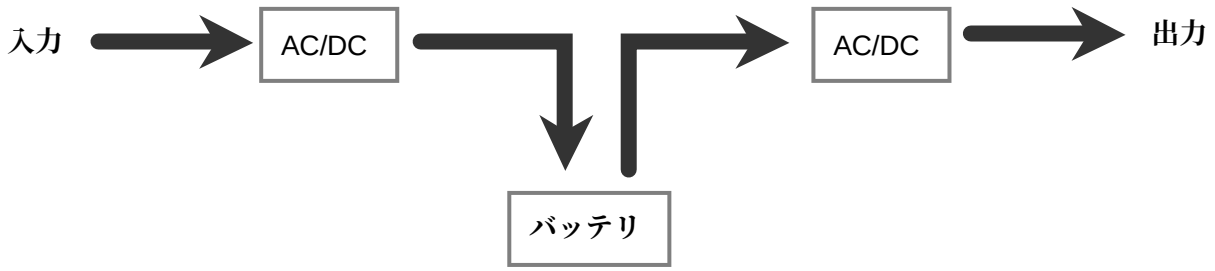
オンライン方式とも呼ばれる。

常時インバータ方式の UPS では、常にインバータからの出力が外部出力として使用される。平常運転時、入力された交流電力がバッテリの充電とインバータへの入力の両方に利用される。このように常時インバータが駆動されるため消費電力が多いが、出力される電力はつねにインバータを経由しているため、入力電圧に変動があっても出力にはまったく影響がない。また、停電時も出力が乱れたり、途切れたりすることもない。但し、常時商用方式の UPS に比べて回路が複雑になるため価格が高価である。

常時商用方式



常時インバータ方式



UPS(無停電電源装置)接続について

UPS 電力容量算出について

UPS へ接続できる、本体装置（サーバ等）や周辺機器の消費電力の計算は、***皮相電力(VA)、有効電力(W)の両方で計算してください。***

UPS に接続する機器の消費皮相電力および消費有効電力の合計が、いずれも UPS の供給電力容量を超えた接続はできません。

接続する本体装置（サーバ等）や周辺機器の消費電力は、ハードウェア諸元等を参考に、最大消費電力値を使用してください。

接続する本体装置（サーバ等）や周辺機器の消費電力に、皮相電力(VA)のみ示されている場合は、その値を有効電力(W)として計算してください。（400VA→400W）

接続する本体装置（サーバ等）や周辺機器の消費電力に、有効電力(W) のみ示されている場合は、***有効電力(W)に 1.4 を掛けた値を皮相電力(VA)として計算してください。(400W→560VA)***

接続する本体装置（サーバ等）や周辺機器に消費電流(A)のみ示されている場合は、***消費電流(A)に 100 を掛けた値を皮相電力(VA)として計算してください。(12A→1200VA)***

UPS 供給電力容量

		皮相電力(VA)	有効電力(W)
多機能 UPS（I-UPSPro）			
1	無停電電源装置(1000VA)[N8580-19]	1000	700
2	無停電電源装置(1250VA)[N8580-20]	1250	900
3	無停電電源装置(1250VA)[N8580-27/-27A]	1250	937
4	無停電電源装置(1000VA)[N8580-28/-28AC]	1000	700
5	無停電電源装置(1250VA)[N8580-29/-29AC]	1250	900
6	無停電電源装置(1250VA)(ラックマウント用)[N8542-12]	1250	937
7	無停電電源装置(3000VA)(ラックマウント用)[N8542-08AC]	3000	2100
Smart-UPS			
8	無停電電源装置(500VA)[N8580-33]	500	320
9	無停電電源装置(700VA)[N8580-11]	700	450
10	無停電電源装置(1000VA)[N8580-12]	1000	670
11	無停電電源装置(1400VA)[N8580-13]	1250	950
12	無停電電源装置(1400VA)(ラックマウント用)[N8542-02]	1250	950
13	無停電電源装置(3000VA)(ラックマウント用)[N8542-03] 5U タイプ	3000	2250
14	無停電電源装置(3000VA)(ラックマウント用)[N8542-11] 3U タイプ	3000	2250

皮相電力：交流電圧（V）と交流電流（A）との積で、単位は（VA）
有効電力：皮相電力の内、実際に消費される電力分で、単位は（W）

接続機器消費電力容量

	皮相電力(VA)	有効電力(W)
Express5800/110Ec	275	220
Exrpess5800/110Lb	275	220
Exrpess5800/120Ld	330	320
Express5800/120Mc	360	350
Express5800/140Hb	650	600
Exrpess5800/110Ra-1	128	125
Exrpess5800/120Rc-2	255	250
Exrpess5800/140Ra-4	550	500
Express5800/140Ra-7(ラックモデル)	612	600
Express5800/140Ra-7（タワーモデル）	935	934
Express5800/180Ra-7	1020	1000

※消費電力は筐体内に内蔵したオプションの電力を含む。

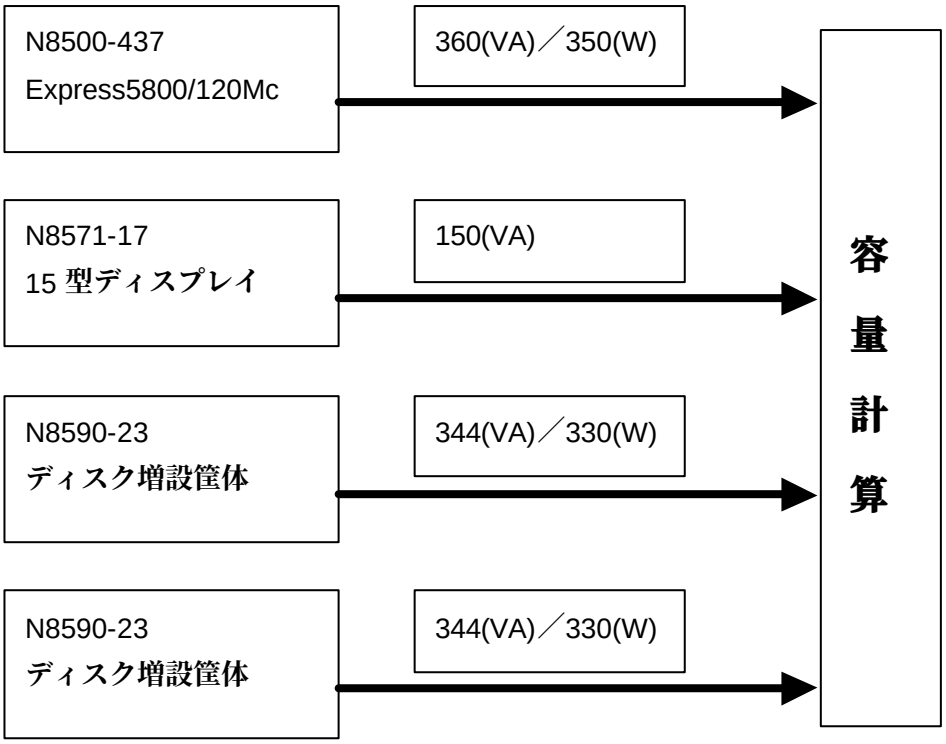
接続機器消費電力容量

	皮相電力(VA)	有効電力(W)
Disk 増設筐体[N8590-23]	344	330
Disk 増設筐体[N8590-02/-02A]	230	200
Disk 増設筐体[[N8590-03]	480	413
Disk 増設筐体[N8590-13]	250	215
Disk 増設ユニット(ラックマウント用)[N8541-26]	557	519
Disk 増設ユニット(ラックマウント用)[N8541-19]	344	330
Disk 増設ユニット(ラックマウント用)[N8541-01]	250	215
Disk 増設ユニット(ラックマウント用)[N8541-06]	250	215
Disk 増設ユニット(ラックマウント用)[N8541-12]	250	215
ディスクアレイ装置[N7736-91]	900	880
ディスクアレイ装置[N7736-94]	900	880
ディスクアレイ装置[N8590-19]	200	200
ディスクアレイ装置[N8590-20]	200	200
ディスクアレイ装置(ラックマウント用)[N7736-93]	900	880
ディスクアレイ装置(ラックマウント用)[N7736-95]	900	880
ディスクアレイ装置(ラックマウント用)[N8541-16]	200	200
ディスクアレイ装置(ラックマウント用)[N8541-18]	200	200
FibreChannel ディスクアレイ装置[N8590-09]	1400	1380
FibreChannel ディスクアレイ装置[N8590-31]	880	846
FibreChannel ディスクアレイ装置(ラックマウント用)[N8590-08]	1000	980
FibreChannel ディスクアレイ装置(ラックマウント用) [N8590-32]	550	498
ディスクアレイ用収納ユニット(ラックマウント用)[N8590-07]	500	490

※消費電力は筐体内に内蔵したオプションの電力を含む。

注意: N8580-11/-12-/13、N8542-02 の製品名に記載された電力容量は AC ケーブルなどの日本の規格により 1250VA まで使用可能

消費電力の計算例（120Mc の場合）



接続機器		皮相電力(VA)	有効電力(W)
N8500-437	Express5800/120Mc	360	350
N8571-21	15 型ディスプレイ	150	150
N8590-23	ディスク増設筐体	344	330
N8590-23	ディスク増設筐体	344	330
消費電力合計		1198	★1160

例示のシステム構成では、皮相電力(VA)は、1198(VA)となり、UPS(1250VA)
１台で供給可能に思えるが、有効電力(W)の方は、1160(W)となり、***UPS の供給有効電力容量を越えてしまう為、UPS を１台増設する必要があります。***

多機能 UPS(I-UPS/Pro)の接続上の注意事項

スレーブ UPS の制限について

- N8580-25 クラスタ接続ボード以外は実装不可。
- 常時通電のサービスコンセントが制御通電のサービスコンセントに切り替わる。（スレーブ UPS は制御通電のサービスコンセント×６となる）
- マスターUPS への接続は接点信号ケーブルとなるため、以下の３種類の信号しか通知できません。
  ①Power Failure：商用電源電圧異常（主に停電）
  ②Low Battery：UPS 内蔵バッテリの電圧低下
  ③Alarm：UPS 内部異常
- サーバは、ESMPRO/UPSController 使用時、マスターUPS とのみ通信を行うためスレーブ UPS の運用状態は、上記３種類の状態以外は確認できません。（LED 表示とブザー鳴動状態でのみ確認可能です。）

UPS のバッテリテストについて

- UPS のバッテリテストには、ESMPRO/UPSController から実施するバッテリテストと UPS 単体で実施するバッテリテストの２種類があります。
- ESMPRO/UPSController から実施するバッテリテストは、マスターUPS のみ実施可能です。スレーブ UPS では実施できません。
- サーバでバッテリ状態が確認できるのは、ESMPRO/UPSController から実施するバッテリテストのみです。
- UPS 単体で実施するバッテリテスト（BUZZER OFF/TEST スイッチによるバッテリテストおよび定期的に自動で UPS 自身が実行するバッテリテスト）の結果は、UPS の LED 表示でのみ確認可能です。

UPS のバッテリ寿命について

- UPS で使用しているバッテリは、通常使用時（使用温度２０℃の環境）でおよそ５年ですが、予防保全のためお早めの交換（４．５年）をお勧めします。また、バッテリ寿命は負荷率や周囲温度によって大きく（周囲温度が４０℃の場合２年）変化しますので、ご注意ください。
- 寿命を過ぎたバッテリを交換しないまま使用した場合、バッテリ容器の劣化により液漏れを起こすことがあります。漏れた液には硫酸が混ざっていますので、発煙や火災の原因となります。

使用温度環境	期待寿命	バッテリ交換時期
２０℃	５年	４.５年
３０℃	４年	３.５年
４０℃	２.５年	２.０年

計画停電及び長期間の UPS 停止時の注意について

- 計画停電時や長期休暇時等で UPS の入力分電盤ブレーカーを OFF する場合は、必ず「UPS ENABLE スイッチ」を OFF にしてください。「UPS ENABLE スイッチ」を ON のまま入力分電盤ブレーカを OFF にしたり、入力ケーブルを抜きますと、停電と同じ状態になりバッテリ運転となります。この場合、計画停電終了時にバッテリ残量が不足して定格バックアップ時間を保証できなくなり、バッテリの充電が完了する前に停電が発生するとシャットダウン完了までバッテリによる電源供給ができず、システムクラッシュやファイル破壊等が発生する可能性があります。また、バッテリ寿命に悪影響を及ぼします。

バッテリバックアップ時間（分）について

・常時インバータ方式

各 UPS のバッテリバックアップ時間（分）は以下の通りです。
この値は目安です。使用環境、条件により多少変動します。また、バッテリの寿命末期では
バッテリ動作時間が初期値の約８０％となります。

バッテリ動作時間　　単位：分

モデル		N8580-27A N8542-12		N8580-27A + N8580-26A N8542-12 + N8542-09AC	
容量 VA／容量 W		1250VA／937W		1250VA／937W	
負荷 VA	負荷 W	初期	末期	初期	末期
100	75	80.4	64.3	301	241.0
200	150	37.8	31.8	144	115.0
300	225	28.0	22.4	105	84.4
400	300	21.4	17.1	82.1	65.7
500	375	16.5	13.2	64.4	51.5
600	450	13.8	11.1	51.6	41.3
700	525	11.6	9.3	42.8	34.2
800	600	10.1	8.1	37.8	30.2
900	675	8.9	7.1	33.3	26.6
1000	750	7.6	6.1	30.0	24.0
1100	825	7.0	5.6	26.6	21.3
1200	900	6.6	5.3	25.5	20.4
1250	937	6.3	5.0	25.0	20.0

モデル		N8542-08AC	
容量 VA／容量 W		3000VA／2100W	
負荷 VA	負荷 W	初期	末期
300	210	62.5	50.0
600	420	37.5	30.0
900	630	26.8	21.4
1200	840	19.6	15.7
1500	1050	15.1	12.1
2100	1470	9.8	7.8
2400	1680	8.0	6.4
2700	1890	7.0	5.6
3000	2100	6.3	5.0

・常時商用方式

各 UPS のバッテリバックアップ時間（分）は以下の通りです。
この値は目安です。使用環境、条件により多少変動します。また、バッテリの寿命末期ではバッテリ動作時間が初期値の約５０％となります。

バッテリ動作時間　　単位：分

モデル		N8580-28AC		N8580-29AC	
容量 VA／容量W		1000/700		1250/950	
負荷VA	負荷 W	初期	末期	初期	末期
100	60	100	50	163	81
200	125	58	29	90	45
300	185	36	18	57	28
400	250	24	12	39	19
500	320	18	9	29	24
600	385	13	6.5	21	10
700	450	11	5	18	9
800	515	9	4.5	15	7.5
900	580	7	3.5	12	6
1000	670	6	3	11	5.5
1200	830			8	4
1250	950			7	3.5

SmartUPS の接続上の注意事項

UPS のバッテリテストについて

- UPS のバッテリテストには、PowerChutePLUS 実施するバッテリテストと UPS 単体で実施するバッテリテストの２種類があります。
- UPS 単体で実施するバッテリテスト（BUZZER OFF/TEST スイッチによるバッテリテストおよび定期的に自動で UPS 自身が実行するバッテリテスト）の結果は、UPS の LED 表示でのみ確認可能です。

UPS のバッテリ寿命について

- UPS で使用しているバッテリは、多機能 UPS(ｲUPS/Pro)と異なり、通常使用時(使用温度 25℃環境)でおよそ３年です。予防保全のためお早めの交換（２．５年）をお勧めします。また、バッテリ寿命は負荷率や周囲温度によって大きく（周囲温度が４０℃の場合 1.2 年）変化しますので、ご注意ください。

- 寿命を過ぎたバッテリを交換しないまま使用した場合、バッテリ容器の劣化により液漏れを起こすことがあります。漏れた液には硫酸が混ざっていますので、発煙や火災の原因となります。

使用温度環境	期待寿命	バッテリ交換時期
２０℃	３年	２.５年
３０℃	２.５年	２年
４０℃	１.４年	１.２年

バッテリバックアップ時間について

各ＳＭＡＲＴ－UPS のバッテリバックアップ時間（分）は以下の通りです。
この値は目安です。使用環境、条件により多少変動します。また、バッテリの寿命末期では
バッテリ動作時間が初期値の約５０％となります。

バッテリ動作時間　　単位：分

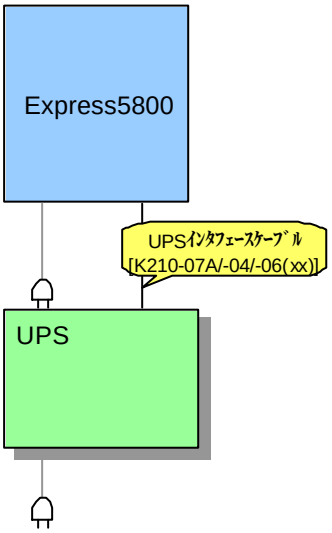
モデル		N8580-33		N8580-11		N8580-12		N8580-13		N8542-02		N8542-11	
容量 VA／容量W		500/450		700/450		1000/670		1400/950		1400/950		3000/2250	
VA	W	初期	末期	初期	末期	初期	末期	初期	末期	初期	末期	初期	末期
100	60	60	30	85	42	100	50	163	81	125	62	207	103
200	125	23	11	38	19	58	29	90	45	69	34	135	67
300	185	15	7.5	20	10	36	18	57	28	44	22	96	48
400	250	9	4.5	14	7	24	12	39	19	30	15	74	37
500	320	7	3.5	9	4.5	18	9	29	14	22	11	58	29
600	385			6	3	13	6.5	21	10.5	16	8	47	23
700	450			5	2.5	11	5.5	18	9	13	6.5	38	19
800	515					9	4.5	15	7.5	11	5.5	33	16
900	580					7	3.5	12	6	9	4.5	29	14
1000	670					6	3	11	5.5	8	4	26	13
1200	830							8	4	6	3	20	10
1400	950							7	3.5	5	2.5	16	8
1600	1170											13	6.5
2000	1460											9	4.5
2200	1600											8	4
2500	1850											6	3
3000	2250											5	2.5

4.UPS 接続構成例（N8580-27A,28AC,29AC／N8542-08AC,-12）

【UPS オプション接続可能台数】

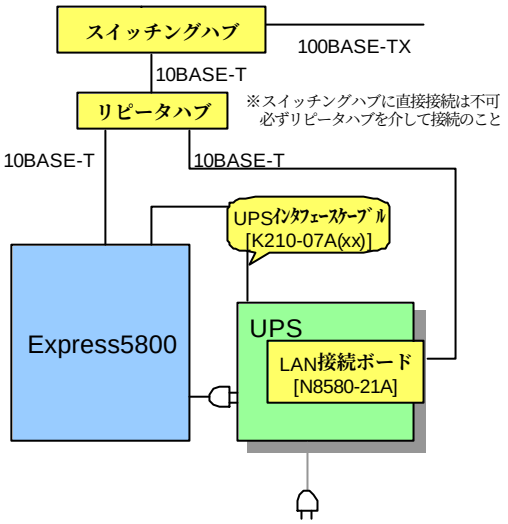
無停電電源装置	ｵﾌﾟｼｮﾝｽﾛｯﾄ数	オプション接続可能台数(N8580-xx)							ｻｰﾋﾞｽｺﾝｾﾝﾄ	
		LAN接続	V.24接続	ﾏﾙﾁｻｰﾊﾞ接続	ﾏﾙﾁUPS接続	ｸﾗｽﾀ接続	ﾊﾞｯﾃﾘﾕﾆｯﾄ		制御通電	常時通電
		-21A	-22A	-23	-24A	-25	-26A	-09AC		
タワー用										
(1250VA)[N8580-27A]	3	2	3	1	1	3	1	—	4	2
(1000VA)[N8580-28AC]	3	2	3	1	1	3	—	—	4	2
(1250VA)[N8580-29AC]	3	2	3	1	1	3	—	—	4	2
ラックマウント用										
(1250VA)[N8542-12]	2	2	2	1	1	2	—	1	4	2
(3000VA)[N8542-08AC]	4	2	4	1	1	4	—	—	4	2

①基本的な構成



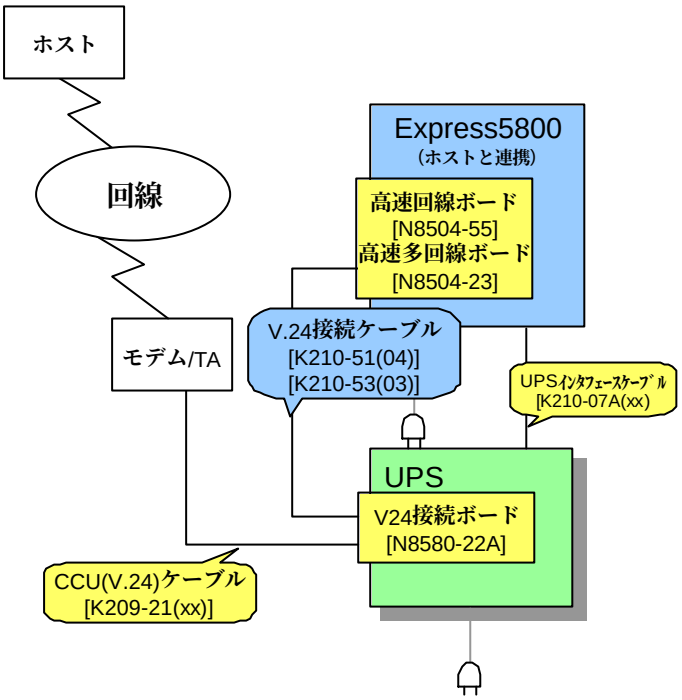
・ESMPRO/UPSController
（とESMPRO/AutomaticRunningController)を使用する時 ･･･K210-07A(xx)
・Windows NT/2000の標準機能を使用する時 ･･･K210-04(xx)
・NetWareの標準機能を使用する時 ･･･K210-06(xx)

②UPS用LAN接続ボード接続

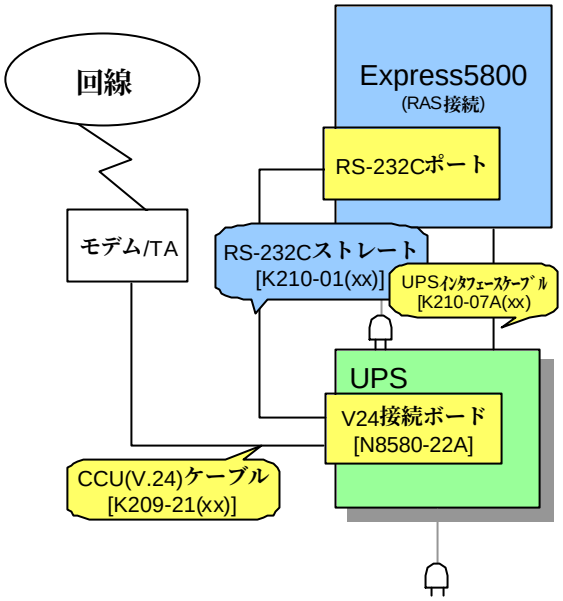


・ESMPRO/AutomaticRunningController必須。
・ESMPRO/UPS Controller必須。
・NetBEUI,TCP/IPに対応。

③UPS用V.24接続ボード

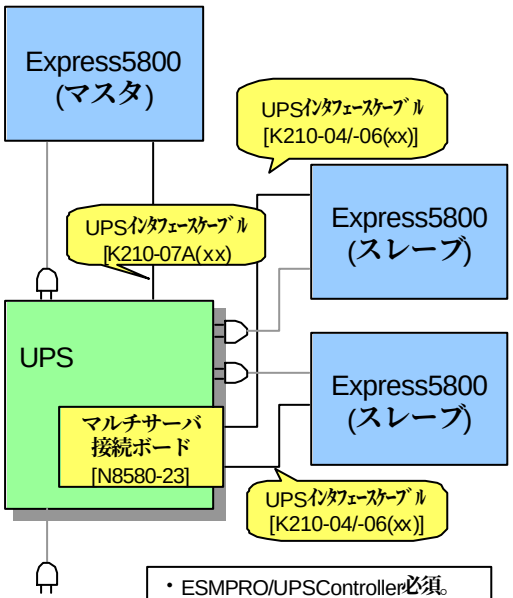


・ESMPRO/UPSController
　とESMPRO/AutomaticRunningController必須。
・V.24のCI、CD信号を利用して電源投入、
　CD、ER信号を利用して電源切断。



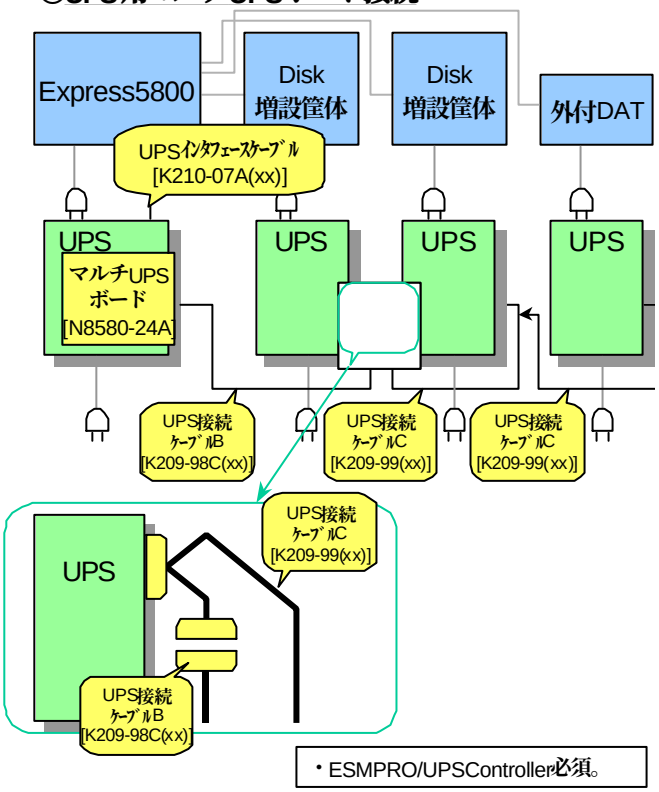
・モデム/TAとExpress5800間ケーブル長の制限
　- 19.2kbps～の場合: 10m以下
　- ～19.2kbpsの場合: 15m以下

④UPS用マルチサーバ接続ボード接続



・ESMPRO/UPSController必須。
・ラック構成で有効。
・UPS電源容量に注意。

⑤UPS用マルチUPSボード接続



・ESMPRO/UPSController必須。

オプションボードについて

・N8580-21A LAN接続ボード

LAN上のクライアントからサーバの電源投入を可能とする

-10BASE-2/Tインタフェース×各1（但し同時使用は不可）

-対応プロトコル：LANマネージャ、TCP/IP

本LAN接続ボードは、UPSを接続するサーバと同じIPアドレス及びMacアドレスを設定する仕様のため、pingによるデバイス確認には対応していません。*1（pingには、応答せず無視します）

*1　UPSの投入要因監視中（サーバが起動していない状態）にpingに応答するとクライアント側でサーバが起動していると誤認する為

・N8580-22A V.24 接続ボード

回線からのサーバの電源投入／切断を可能とする

-V.24 インタフェース×1

・N8580-23 マルチサーバ接続ボード

1 台の UPS で複数台（最大３台）のサーバの電源投入／切断を可能とする

・N8580-24A マルチ UPS 接続ボード

複数の UPS のカスケード接続を可能とする

-最大 5 台までの UPS をスレーブ UPS として接続可能

・N8580-25 クラスタ接続ボード

クラスタ構成を可能とする

増設バッテリについて

・N8580-26A バッテリユニット

N8580-27A のバッテリバックアップ時間を 20 分に延長する

・N8580-09AC バッテリユニット

N8542-12 のバッテリバックアップ時間を 20 分に延長する

・

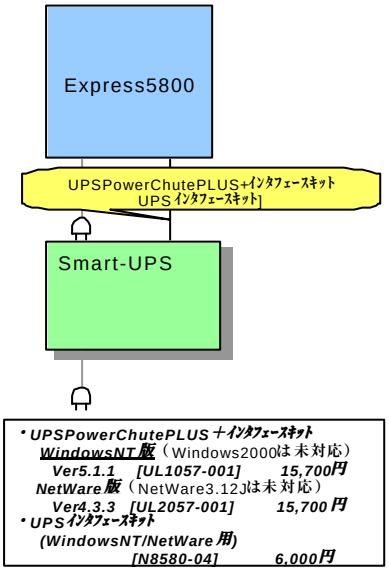
Smart-UPS の接続について

無停電電源装置[N8580--33/-11/-12/-13]、**無停電電源装置**[N8542-02/-11]**の接続。**

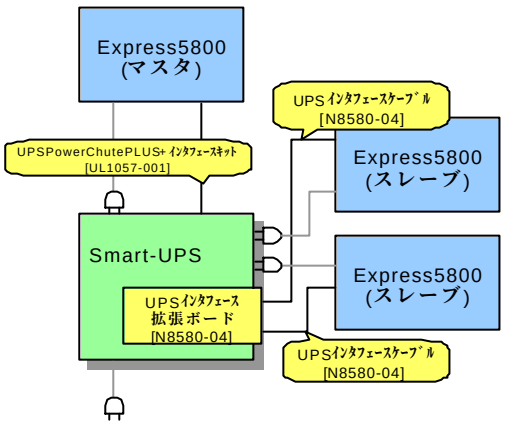
【Smart-UPS オプション接続可能台数】

無停電電源装置	オプション接続可能台数(N8580-xx)	サービスコンセント
	UPS 拡張ボード／SNMP カード	常時通電
タワー用		
(500VA)[N8580-33]	1	4
(700VA)[N8580-11]	1	6
(1000VA)[N8580-12]	1	6
(1400VA)[N8580-13]	1	4
ラックマウント用		
(1400VA)[N8542-02]	1	6
(3000VA)[N8542-03/11]	1	8

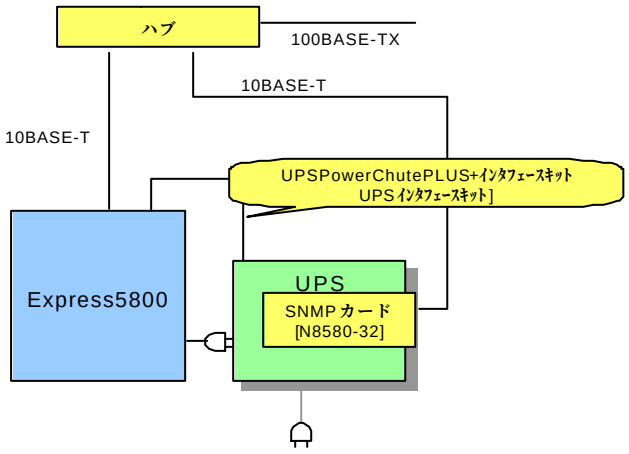
①基本的な構成



②UPS用マルチサーバ接続ボード接続

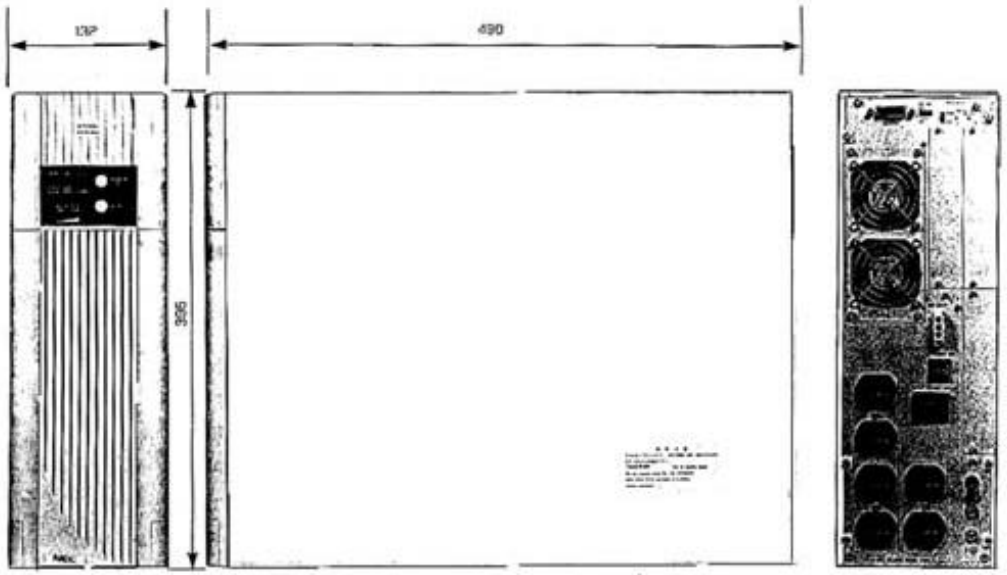


③SNMPカード接続

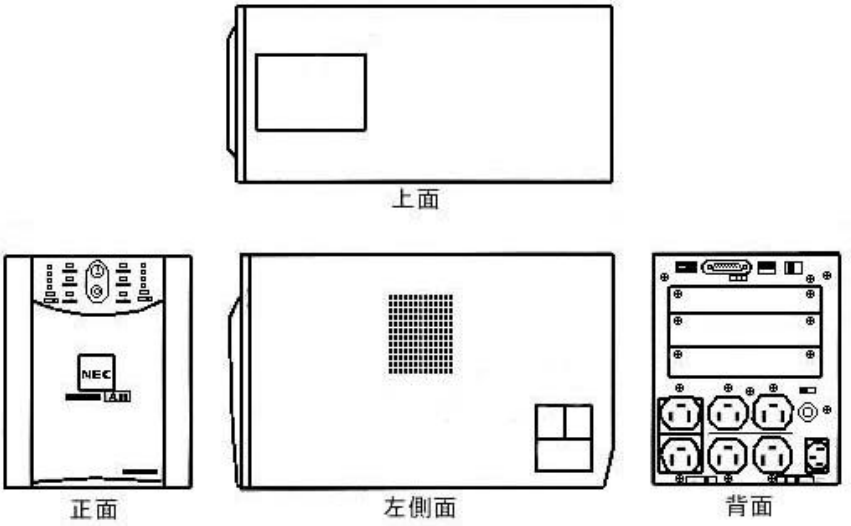


・PowerChutePLUS必須。
・NetBEUI,TCP/IPに対応。

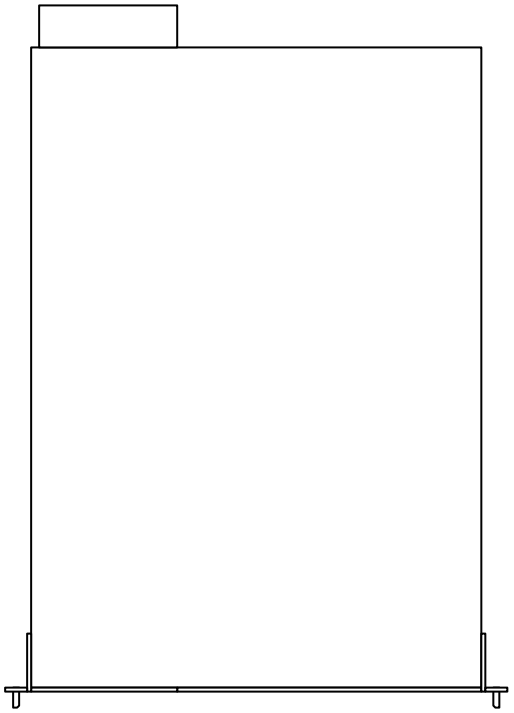
・ **5.外観図**

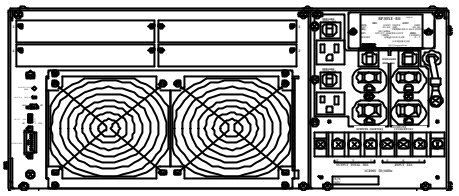


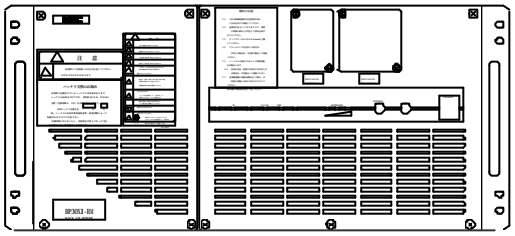
(N8580-27A) 132mm(W)×490mm(D)×395mm(H)



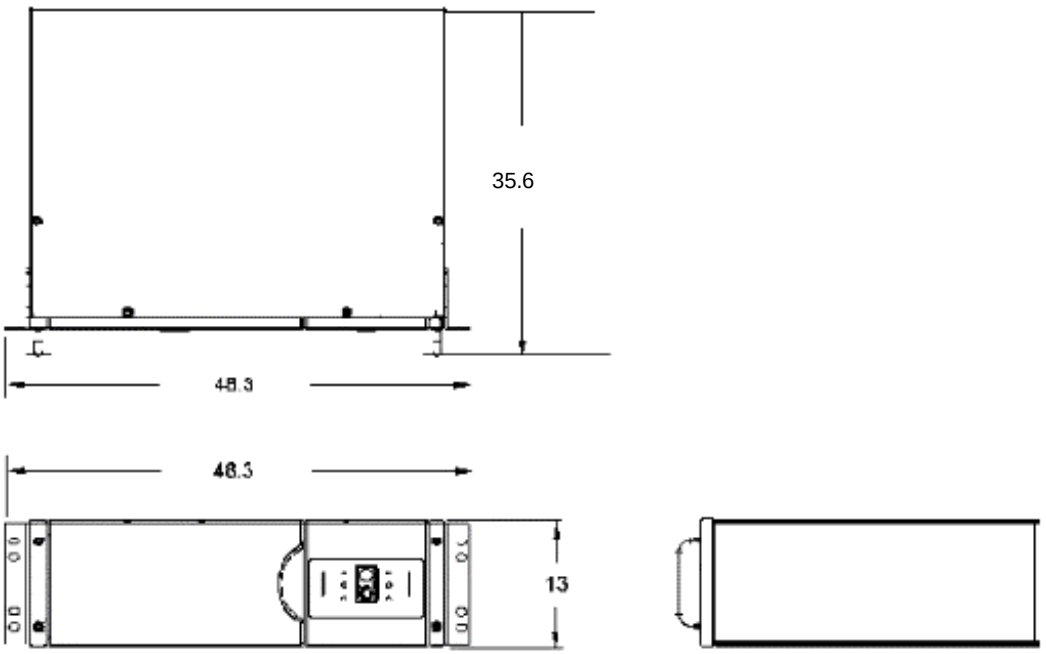
(N8580-28AC,29AC) 170mm(W)×570mm(D)×219mm(H)



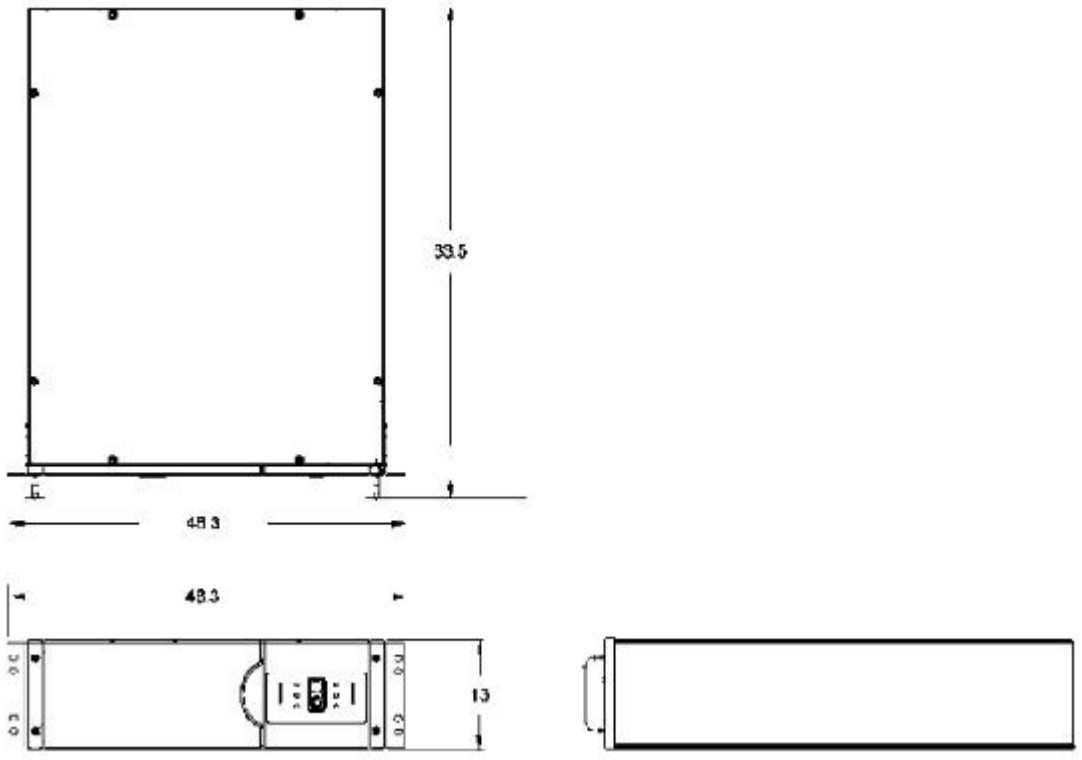




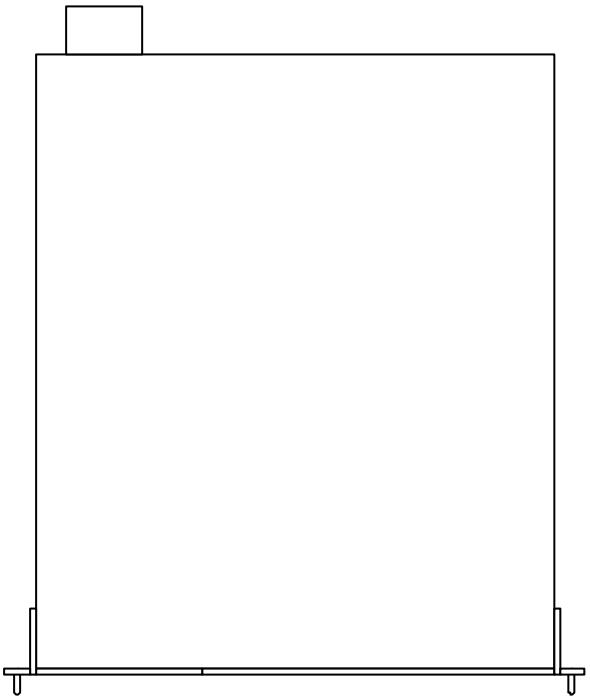
(N8542-08AC) 482.6mm(W)×600mm(D)×217.5mm(H)

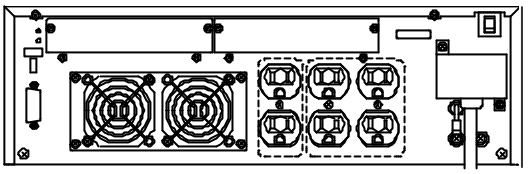


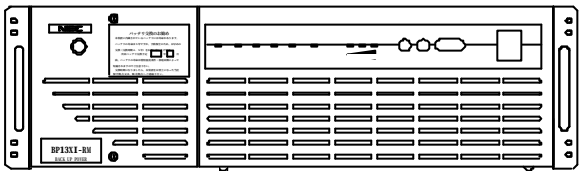
(N8542-02) 483mm(W)×356mm(D)×130mm(H)



(N8542-11) 483mm(W)×635mm(D)×130mm(H)







(N8542-12) 482.6mm(W)×500mm(D)×129mm(H)